

〈大阪府立〉大学創基 140 年記念事業について

ーホームカミングデーファイナルを中心にー 副会長 大学 35 期 大塚耕司

1883 年の獣医学講習所設立から数えると、2023 年に大阪府立の大学は創基 140 年を迎えます。この節目を記念して〈大阪府立〉大学創基 140 年記念事業が進められています。〈大阪府立〉大学と表記されているのは、現在の大阪府立大学が、獣医学講習所をはじめ、大阪府立農学校、大阪高等工業学校、大阪女子大学、大阪府立看護大学などたいへん多くの「大阪府立」の高等教育機関がルーツとなっているためです。この長い歴史の中で、〈大阪府立〉大学は公立大学として大阪の産業界の発展に大きく貢献してきました。そして 2022 年 4 月には、大阪府立大学と大阪市立大学が統合して大阪公立大学 (Osaka Metropolitan University) が誕生し、「大阪府立大学」はまもなく幕を閉じることになります。

そこで「〈大阪府立〉大学のアイデンティティを未来につなぎ、さらに発展させる」ことを目的として、継承する、結集する、共創する、を合言葉に、アーカイブズ事業 (継承)、ホームカミングデーファイナル (結集)、イノベーションアカデミー事業 (共創) を 3 本柱として事業は進められてきました。アーカイブズ事業では、創基 140 年を機に、〈大阪府立〉大学が生み出してきた資料についての整理・保管機能を強化し、大学アーカイブズとその情報が閲覧できる WEB サイトを構築します。また、記念誌「飛翔の 140 年」を、冊子と映像の形で刊行します。イノベーションアカデミー事業では、なかもたずキャンパス内に「総合知による社会変革」と「知・人への投資」の好循環を生み出す産学官協創リビングラボ、社会課題探索の場としてのソリューション施設、未来型人材育成のためのアカデミー施設としてなど、産学官が協創して社会課題に取り組む拠点となるイノベーションアカデミーを建設します (創基 140 年記念事業 WEB サイトから引用)。

そしてホームカミングデーファイナルは、2021 年 10 月 30 日 (日) にオンラインで実施されました。以下にその

概要を紹介します。総司会は NHK スポーツ担当アナウンサーの別井敬之氏 (2020 年経済学部卒) が担当しました。オープニングでは、辰巳砂昌弘学長の開会あいさつ、島津製作所会長の中本晃氏 (1969 年工学部卒) のビデオメッセージがありました。次に、阪神電鉄会長、阪神タイガースオーナーの藤原崇起氏 (1975 年経済学部卒) から特別講演があり、交通ネットワークと情報ネットワークの将来を SDGs の観点から熱く語られました。特に日本におけるシングルマザーの貧困問題の解決に、交通ネットワークと情報ネットワークが一役買うのではないかとの意見は、たいへん説得力のあるものでした。その後行われたパネルディスカッションでは、ソースネクスト会長兼 CEO の松田憲幸氏 (1989 年工学部卒) からポケットークの開発秘話、須磨海浜水族園獣医師の毛塚千穂氏 (2011 年生命環境科学部卒) から動物の個性や多様性について、元パラアスリートで作業療法士の大向優貴氏 (2017 年総合リハビリテーション学部卒) からパラスポーツと多様性について、それぞれたいへん興味深い話が語られました。さらに、山東功教授、藤村紀文教授、落語家の桂文喬氏 (1975 年経済学部卒)、タレントの天職ゆい氏 (2020 年現代システム科学域卒) による 140 年記念トークが行われ、別井氏の軽妙な司会によって大いに盛り上がりました。中でも山東教授による製作中のアーカイブムービーの紹介では、〈大阪府立〉大学の歴史を物語る貴重な写真が多く披露されました。最後に、辰巳砂学長から大阪公立大学の新しい建物、特に森之宮キャンパスについて紹介があり、上田勝彦校友会会長 (1976 年工学部卒業) による開会あいさつで締めくくられました。

本稿ではホームカミングデーファイナルを中心に紹介しましたが、アーカイブズ事業、イノベーションアカデミー事業はこれからの本番となります。皆様には〈大阪府立〉大学創基 140 年記念事業をぜひとも応援していただきたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

大阪府立大学工学部 鷗朋会 第70回理事会報告

- 日 時： 2021年10月16日（土）14:00～15:00
- 場 所： 大阪府立大学海洋システム工学分野会議室、WEB会議（一部理事）
- 出席者： 岩崎会長（大20期）、藤原副会長（大24期）、大塚副会長（大35期）、城野（大8期）、杉山（大12期）、吉久（大13期）、定兼（大15期）、松本（大19期）、池田（大21期）、三宅（大30期）、有馬（大37期）、片山（大41期）、中谷（大45期）、新井（大48期）、黒田（大51期）、谷（大68期）、絹笠（大69期）、吉岡（大69期）（以上18名）
- 資 料： 鷗朋会 第70回理事会 議事次第
- 資料（1）2020年度会計報告書、2020年度会計監査報告
 - 資料（2）編集委員会報告
 - 資料（3）2021年度予算および中間報告書
 - 資料（4）市大との同窓会統合状況の報告
 - 資料（5）鷗朋会役員名簿
 - 資料（6）2022年度会計予算案
 - 資料（7）「鷗朋会」郵送停止候補者（会議終了後回収）

片山理事より開会の辞、岩崎会長より挨拶、議長に大塚副会長が推薦され承認された。

□議 事：

(1) 報告事項

a) 2020年度会計報告（資料（1））

中谷理事より資料に基づき2020年度会計報告が行われた。杉山理事、吉久理事より2020年度会計監査報告が行われ、適正に管理運営されていることが報告された。

b) 編集委員会報告（資料（2））

三宅理事より資料に基づき同窓会誌の発行状況および計画に関する報告が行われた。編集委員会の負担を軽減する発行スケジュールや他組織からの寄稿などを検討すべきとの意見が出た。

c) 2021年度会計中間報告（資料（3））

中谷理事より資料に基づき2021年度会計中間報告が行われた。

d) 市大との同窓会統合状況報告（資料（4））

岩崎会長より資料に基づき府大・市大の同窓会の現状および統合状況の報告が行われた。学科単位同窓会の集合体として工学部同窓会の設置が予定されていること、鷗朋会については現状維持であることが報告された。

(2) 協議事項

a) 新理事推薦に関する件

片山理事より新理事推薦（絹笠氏・吉岡氏（大69期））の提案があり、承認された。

b) 2022年度会計予算に関する件（資料（6））

中谷理事より資料に基づき2022年度会計予算案について説明があった。

c) 2022年度郵送停止予定者に関する件（資料（7））

岩崎会長より、郵送停止予定者一覧について説明があった。連絡可能な会員については各理事から連絡をし、その結果を事務局へ報告することとなった。

d) 鷗朋会総会に関する件

岩崎会長より、第11回総会開催が提案され承認された。総会概要は以下のとおりである。なお、内容及び予算案は第10回総会ベースで説明されたが、詳細は会長、副会長および学内理事で検討することとなった。

- ・2022年4月で同窓会創立80周年となる。
- ・第1回学祭期間（2022年11月）に新大学開学のイベントに合わせて開催。
- ・総会に合わせて同窓会創立80周年partyを開催する。

e) 会員からの寄贈物品について会長から紹介が有り、今後は事務局にて保管方等の判断を行うことが承認された。

片山理事より閉会の辞。

以上 文責 黒田桂菜(大51期)

2020年度 会計報告書 2020.4.1-2021.3.31 単位:円				2022年度会計予算案 2022.4.1-2023.3.31 単位:円			
収入の部		支出の部		収入の部		支出の部	
摘要	決算	摘要	決算				
前期繰越	1,179,098	振込手数料	55,706	前期繰越	1,865,823	振込手数料	90,000
		通信費	221,946			通信費	302,400
同窓会会費	1,320,000	役務費	635,264	同窓会会費	1,200,000	役務費	651,392
理事会会費	0	事務費	55,956	理事会会費	50,000	事務費	80,000
		印刷費	136,554			印刷費	119,206
雑収入(利息)	3	慶弔費	45,695			会議費	50,000
		会議費	0			総会費	200,000
2019年度卒業記念品代補助	50,000	HPアルバイト	10,000			HPアルバイト	10,000
校友会同窓会活動支援金	149,000	データベース更新アルバイト	40,000			データベースアルバイト	40,000
2020年度卒業記念品代補助	20,000	2020年度卒業記念品代	32,065			雑費	10,000
		雑費	0	小計	1,250,000	小計	1,552,998
小計	1,539,003	小計	1,233,186			次期繰越	1,562,825
		次期繰越	1,484,915				
合計	2,718,101	合計	2,718,101	合計	3,115,823	合計	3,115,823

会計監査 大阪府立大学工学部 賜朋会殿

2020年度の同窓会会計につきまして、監査の結果、適正に管理運営されていることを確認いたしましたのでご報告いたします。

監事 杉山和雄 吉久英昭

ハイブリッド理事会の試行報告

賜朋編集委員長 三宅成司郎 (大学 30 期)

新型コロナウイルス感染防止のための第一の対策は、『人との距離を十分にとる (2m)』です。その他の重要対策として、①他人と同室している場合は十分な換気を行う、②大きな集会などの密集を避ける、③マスクを正しく着用する (鼻だし禁止!)、です。できることならば人には近づかず、また大勢が参加する会合などには参加せずに済ませることができれば安心なのですが、そうは言っておられないのが現実です。会合へ参加する場合、参加者はマスクを着用し主催者は換気を励行する、ということになります。

さて、このような新型コロナ下においては、理事会開催のあり方も模索する必要があります。理事会は、たくさんの理事に出席頂かなくてはなりません。しかし、遠方であるため出席できない理事の方々がおられますし、当日の急な用事で会場に行けない場合もあると思います。また、今はコロナ感染も足かせになって不参加とせざるを得ない、ということもあります。

そのような諸般の状況に鑑み、第 70 回の理事会は当日会場に来られない理事に対してパソコンによるウェブ参加を試行することにしました。すなわち、会場参加 (対面参加) とウェブ参加の両参加者 (ハイブリッド方式) によって会議を進行しました。私も当日の午前中に用事があり理事会の開始時間に間に合わないため、ウェブによる参加としました。

中谷理事よりメール配信されたアクセス用のアドレスをマウスでダブルクリックすると、ウェブ会議用ソフトが起動して理事会会場とつながり、対面参加されている理事諸兄がパソコン画面に現れました。各理事の言葉も明瞭に聞こえましたし、また中谷理事のカメラワークも堂に入ったもので、話者の映像をよく捉えていました。私は編集委員会の進捗について報告しましたが、『声が不明瞭で説明の内容が聞き取れない!』など、遠隔からの説明に対する不都合・不満が出なくて安心しました。

以上がハイブリッド理事会試行の顛末ですが、上々の出来映えだったと思います。遠方にお住まいの理事の方々に理事会に参加頂くために、このハイブリッド方式を活用することは一つの方法になると感じました。多くの理事の方々が、理事会へ無理なく、かつ積極的に参加頂けるように、今後も模索・検討を重ねて参ります。

以上

● 会費納入のお願い

2021年度(2021年4月～2022年3月まで)の会費納入をお願いいたします。年会費3,000円です。同封の振込用紙をご利用いただくか、りそな銀行、郵便振替口座にご送金下さい。なお、すでに会費を納入いただいている方には、請求書を同封しておりません。また払い込みの手間が省ける口座振替もご利用いただけるようになりました。所定の口座振替届書の提出が必要ですので、ご希望の方は事務局までご連絡下さい。後日、口座振替届書を郵送させていただきます。会員皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

● ご意見・ご感想の募集

鷗朋・ニューズレターに対してご意見ください。発行物をもっと良くするため、感想や批評など忌憚のないご意見をどしどしお寄せください。また、併せて原稿も募集しております！「テーマ」は、自由です。近況報告、同期会開催顛末、技術的なレポートなど。分量は柔軟に対応いたします。鷗朋会事務局まで。随時受け付けております。

● 表紙絵、イラストの募集

表紙絵、誌面のスペースに使用するイラストを募集いたします。

特に、表紙絵の蓄え(たくわえ)がなくなってきました。「鷗朋」の表紙を、皆様の作品をお披露目する一つの場所として気楽にお使い頂きたく、応募のほどよろしくお願い申し上げます。

● 鷗朋会 総会の開催について

2022年度に、鷗朋会 第12回総会を開催する予定にしております。詳細については、後日にお知らせ致します。多くの同窓生の方にご参集頂き、令和4年4月1日にスタートする大阪公立大学のことを話題の一つにして話に花を咲かせましょう。ご予約おき頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 鷗朋32号の予告編

鷗朋32号は、令和4年の3月末発行を予定しています。次号の特集は『大阪公立大学』です。同窓生にとって最も気になるのは、次年度に開学する大阪公立大学のことではないでしょうか。新大学の内容や同窓会のことについて、様々な角度で紹介したいと思っています。

編集後記

寄稿のお礼と大阪公立大学後の『鷗朋』の構想

鷗朋会副会長の大家先生に、『〈大阪府立〉大学創基140年記念事業について紹介してください。』とお願いしました。それは、実のところ自身が十分に理解していないこともあって、この記念事業のことはあまり知られていないのではないだろうかと思つてのことです。的を絞った明快な紹介文によって、目的と3つの合い言葉の意味とその関連が良くわかりました。その中でホームカミングデーも本事業の一端をなすものであったことを知ることができ、周到に練り上げられたものであることに、なるほどと感じ入りました。執筆頂きました大家副会長にお礼申し上げます。

“大阪公立大学の鷗朋会“になった後の『鷗朋』の内容について、種々思いを巡らせています。表紙絵について、「事務局だより」にてお願いしておりますように、現在は皆様よりお預かりした絵画作品を順次掲載させて頂いております。幅を拓けるといふ意味において、皆様の写真作品も表紙に載せてみたいなあ、と思っています。「シリーズ研究室紹介」、「シリーズ健康」などのシリーズものも適宜やりました。研究室紹介については今後も継続しますが、加えて「シリーズ技術レポート」を考えています。技術屋としては、常に目新しい技術に触れていたいという欲求があります。そこで、学内理事の先生方に、『他大学に勤務されている同窓生の先生をお教えください。』と協力をお願いしたところ、色々な分野の多くの研究者を紹介頂くことができました。順番に寄稿をお願いし、興味深い技術レポートを皆様にお届けしたいと考えている次第です。

鷗朋編集委員長 三宅 成司郎(大学30期)

■ 鷗朋会ニューズレター 第16号

発行日/2021年12月20日

鷗朋会(けきほうかい)

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学大学院工学研究科 海洋システム工学分野気付
<http://www.marine.osakafu-u.ac.jp/~alumni/>
E-mail: doso@marine.osakafu-u.ac.jp
TEL/FAX: 072-254-7461